

DP 1
 仏教および仏教に関連する研究領域に関わる基礎的知識と専門的知識を修得し、それを表現し、発信していく力を身につけている

DP 2
 社会人に必要とされる教養として、基礎的な読解力、歴史を正しく理解する力、問題を発見し解決策を検討する力、問題にアプローチするために資料を収集し、批判的に思考しながら読解する力、問題に多面的な検討を加えて解答を導き出し、それを論理的に表現する力を身につけている

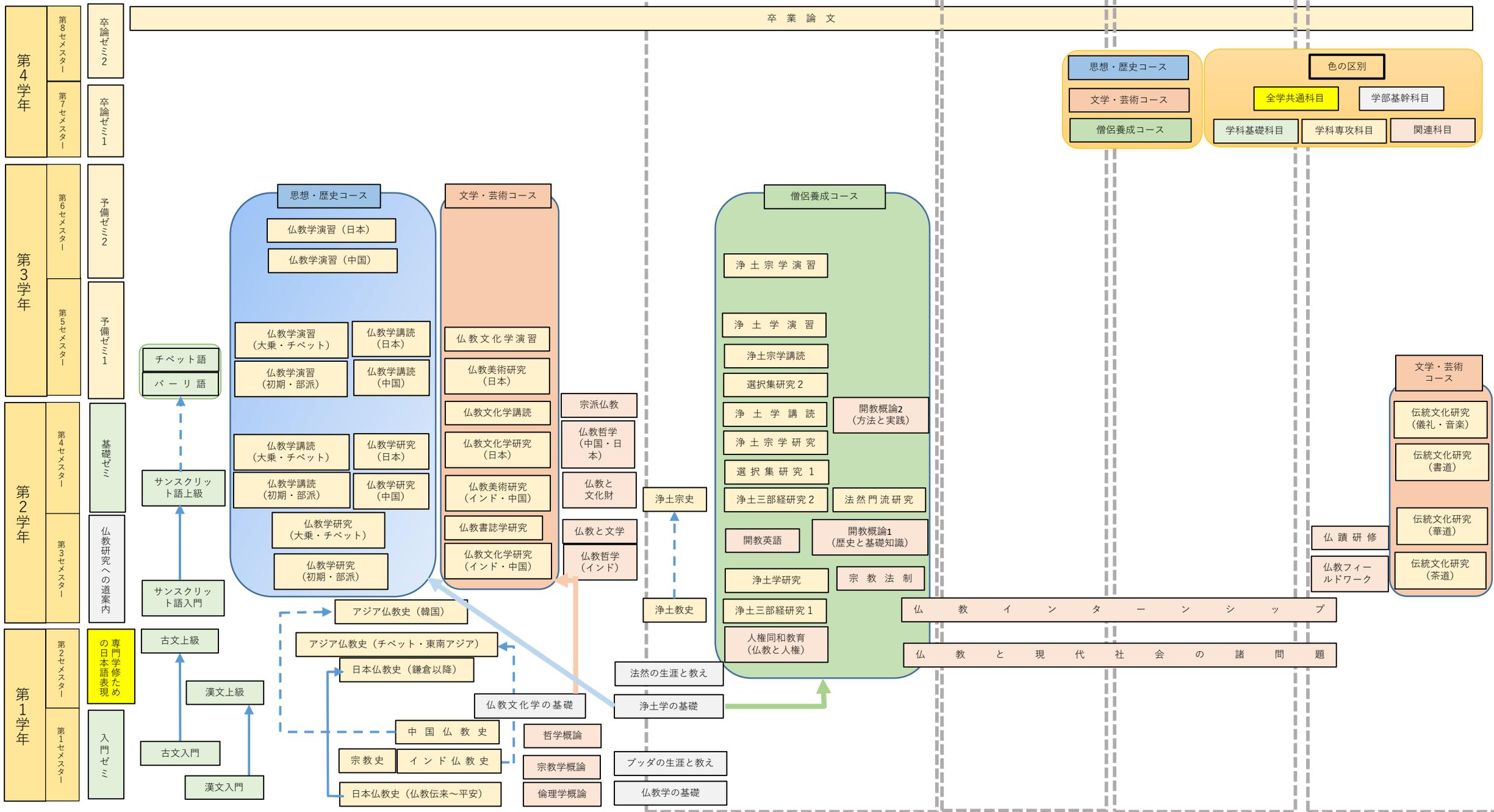
DP 3-ア
 浄土宗教師（浄土宗僧侶）として、仏祖・宗祖の精神を備え、それを伝え広めていく力

DP 3-イ
 仏教を学ぶことで培われた知識や技能を、社会のさまざまな場所で積極的に発揮していく力

DP4
 現代社会が抱えるさまざまな問題を理解し対応する力を身につけている

DP5
 仏教が日本を含むアジアの人々の生活文化の中で果たしてきた役割を再発見、再評価し、それを社会に発信する力を身につけている

浄土宗教師資格と深く関わる



到達目標 ④
 ・卒業論文テーマの絞り込みと問題点の把握をおこなう。
 ・一次文献と二次文献の分類・読解などを通して総合的に発信できる力を身につける。
 ・最終的に各自の研究成果である卒業論文を完成させ、質疑応答ができるようになる。

到達目標 ③
 ・地域領域ごとの資料を正確に理解・読解して問題点を指摘できる。
 ・問題を発見し、多面的な検討を加えることができる。
 ・卒業論文作成の過程と方法論を学び、論文のテーマ・目次を設定する基礎を身につける。

到達目標 ②
 ・地域領域ごとの専門的言語・専門的知識・研究方法を習得する。
 ・各分野における辞書・目録・索引・年表等、工具書の種類と扱い方を知る。
 ・専門書・論文を探索、活用できるようになる。

到達目標 ①
 ・基礎的語学・仏教史・基礎知識の習得を目指す。
 ・基礎的な概説書を読みこなすことができる。
 ・仏教学の各地域 (インド・中国・日本) ・各領域 (仏教学・浄土学・仏教文化) の特色・差異を理解できるようになる。